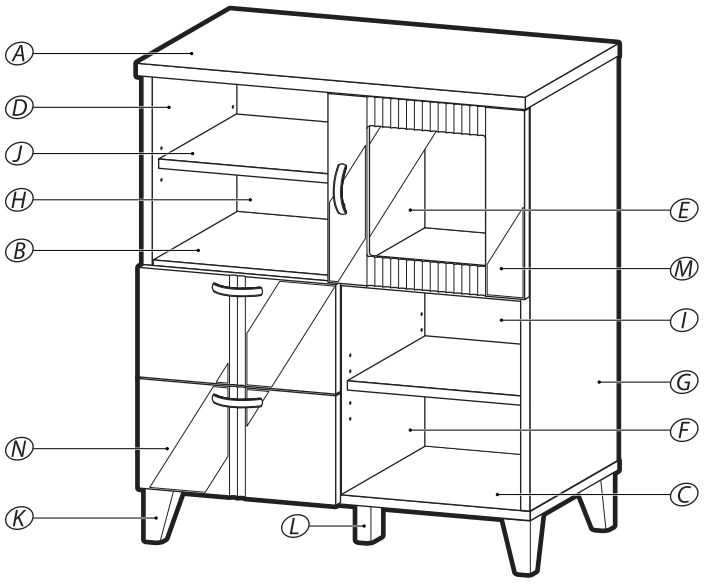
SHIRAI

取扱・組立説明書

管理番号　SK815330

090701-I

モークレイ
商品名 MCL-9075GH WH/BK-80



※この商品の天板耐荷重は30kg（294N）、棚板耐荷重10kg（98N）ですので、その範囲内でご使用下さい。

この度は、お買い上げいただきありがとうございます。
取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見られるよう大切に保管して下さい。

注意

取扱・組立説明書には、商品を正確に組立て、末永くご愛用していただく為の情報が記されております。本紙の指示通りに組立て、ご使用して下さい。

《組立て前に下記注意事項を必ずお読み下さい》

不用意・不適切な組立ては事故につながる恐れがあります

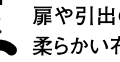
- 工具等の取り扱いには十分ご注意下さい。
- プラスドライバーの先端＋字は、ネジの⊕字と合ったものをご使用下さい。
- 組立ての際は、商品部材・部品のカドでのケガや、床・壁等、室内をキズつけないようご注意下さい。
- 組立ての際は、お子さまに注意し広い場所で行って下さい。
- 組立て手順に従って部材の取り付け、ネジ締めなど確実に行って下さい。
  組立て手順が違うと組立てられない場合があります。
  部材の取付け、ネジ締めなどが不十分ですと使用中に製品が破損しケガをする恐れがあります。
  また、まれにネジ締めが固い場合には、家庭用のロウや石鹸をネジに塗ると入りやすくなります。
  （共通説明書の「組立てのポイント」をよくお読み下さい）

組立てに必要な工具です。ご用意下さい。

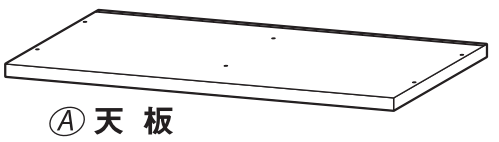
PARTS CHECK　●最初に必要なパーツが揃っているかご確認下さい。

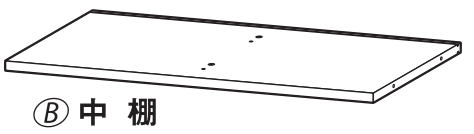
部品　まずは部品のチェック!

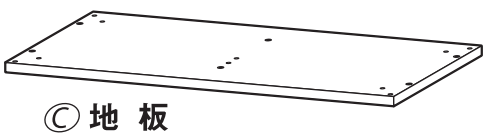
●細かい部品は、箱などにまとめると、紛失を防ぎ組立て作業がスムースです。

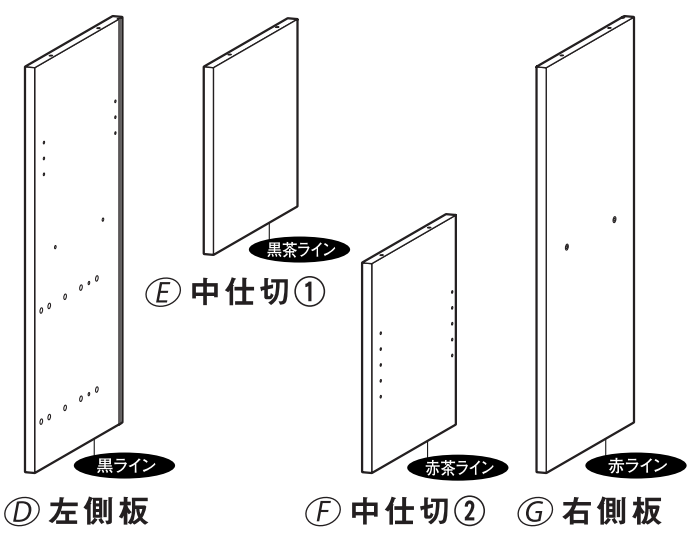
かたち	なまえ	数	チェック
	組立ネジ	12	
	木ダボ 大	10	
	木ダボ 小	8	
	引出ネジ	8	
	棚受ダボ	8	
	ボンド	1	
	背板ストッパーセット（ストッパー＋固定ネジ）	4	
	引出レールセット（本体用＋引出用＋固定ネジ×1）	4	
	スライド蝶番セット（蝶番＋取付ネジ×4）予備ネジ付	2	
	引 手	3	
	引手ネジ	6	
	ビスシール	4	
	丸クッション	2	

部材　●Ⓐ～Ⓖ、Ⓙのパーツについては、後側に名称が印刷されています。


Ⓐ 天 板

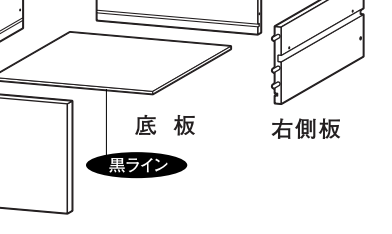

Ⓑ 中 棚


Ⓒ 地 板



Ⓓ 左側板　Ⓔ 中仕切①　Ⓕ 中仕切②　Ⓖ 右側板

※Ⓓ、Ⓖの左右側板とⒺ、Ⓕの中仕切には、上下方向があります。
組立 1 ～ 5 ではご注意下さい。


Ⓗ 背板①

Ⓘ 背板②

Ⓙ 移動棚 ×2

Ⓚ フット① ×4

Ⓛ フット②

Ⓜ ガラス扉

同一梱包

キズ防止

お願い
扉や引出の組立は鏡面塗装保護のため、
柔らかい布などの上で作業をして下さい。

※おことわり／資源活用のため、引出の底板には不特定な柄の板を使用している事があり、展示品と異なる場合があります。ご了承下さい。

お問い合わせ

●製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら
お手元にこの組立説明書をご用意の上、
0120-22-1378 までお寄せ下さい。受付時間／9:00～17:00（土・日・祝祭日は休み）

株式会社 白井産業／藤枝DC
〒426-0053　静岡県藤枝市善左衛門1471-2
http://www.shirai-s.co.jp/ E-mail:sri@shirai-s.co.jp

SHIRAI

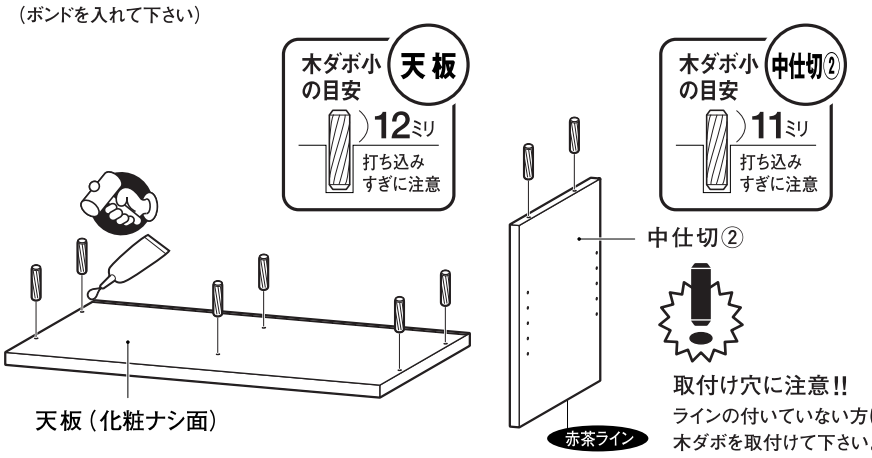
組立てかた MCL-9075GH WH/BK モークレイ MORCLAY

090701-I

1 天板と中仕切②に木ダボ小を取付けます。

木ダボ 小 ×8

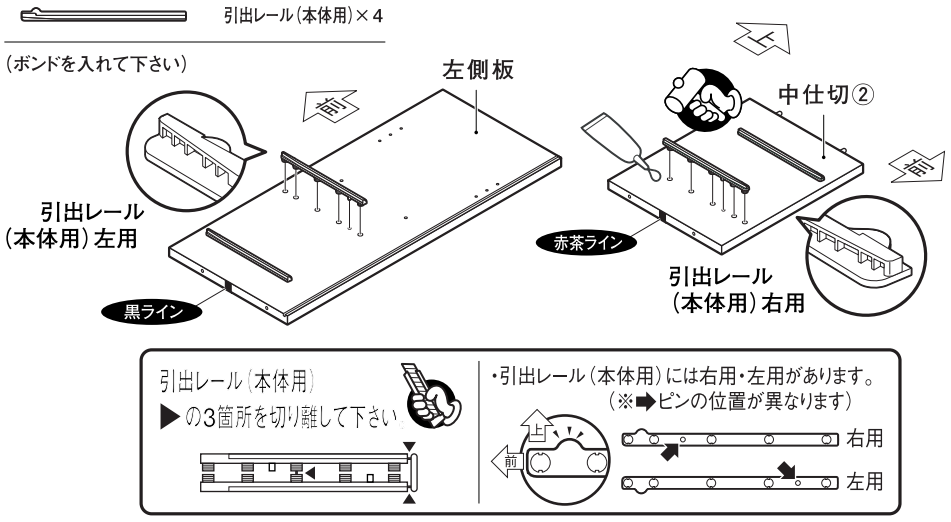
（ボンドを入れて下さい）



2 左側板と中仕切②に引出レールを取付けます。

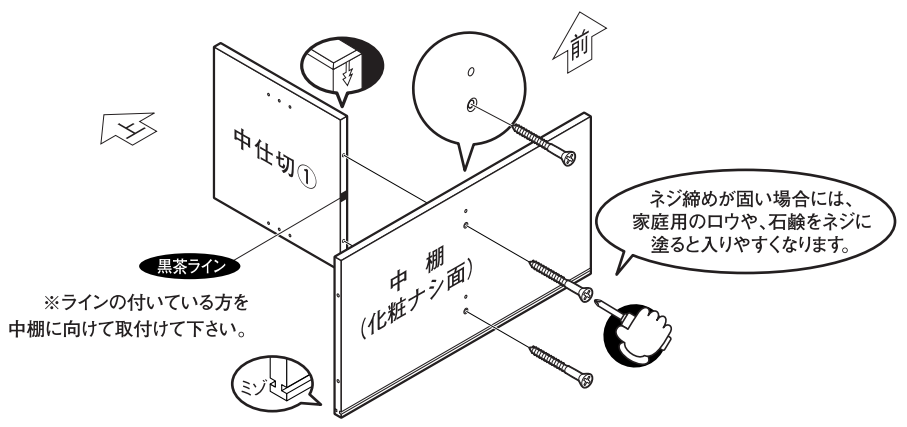
引出レール（本体用）×4

（ボンドを入れて下さい）



3 中棚に中仕切①を取付けます。

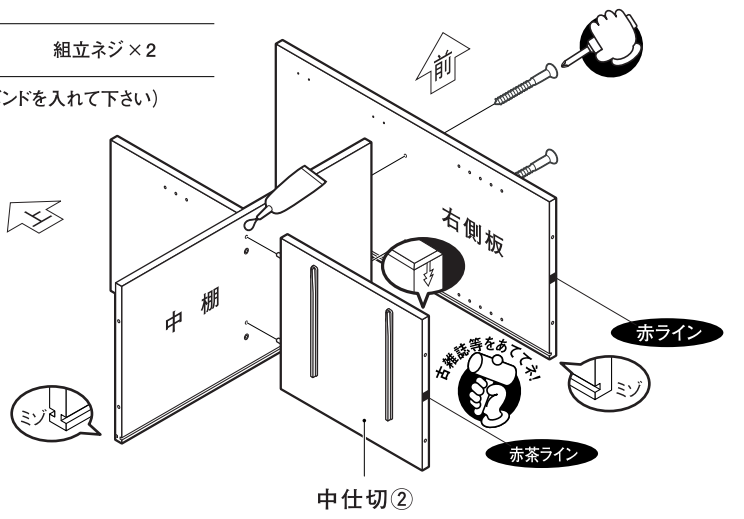
組立ネジ ×2



4 中棚に中仕切②、右側板を取付けます。

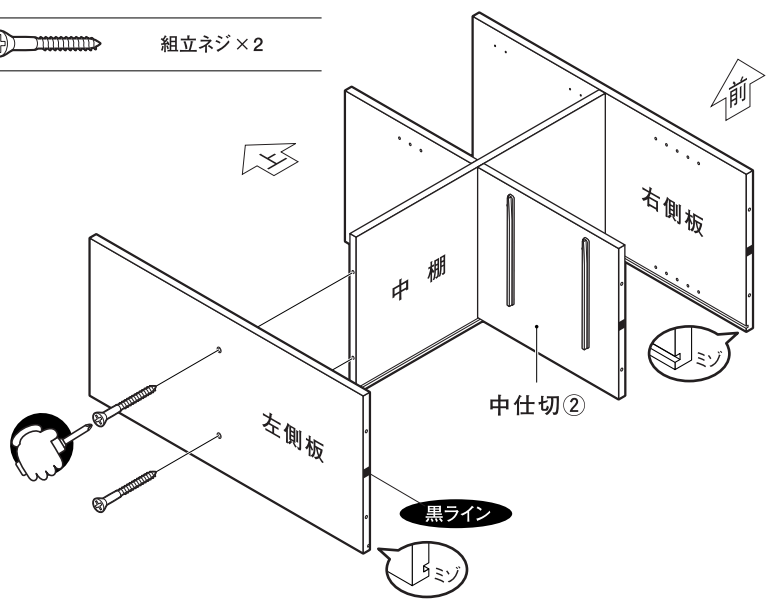
組立ネジ ×2

（木ダボの入る穴にボンドを入れて下さい）



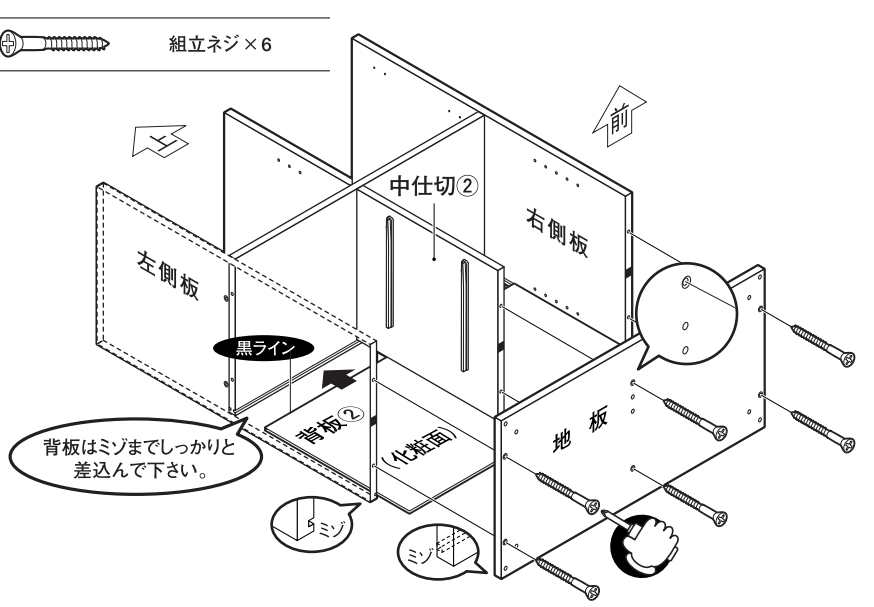
5 中棚に左側板を取付けます。

組立ネジ ×2



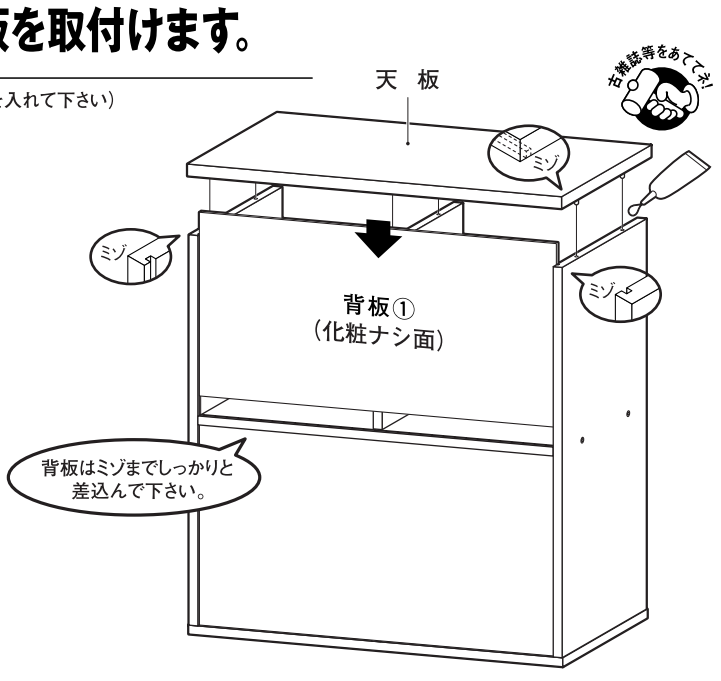
6 背板②を差込み、地板を取付けます。

組立ネジ ×6



7 本体を起こして、背板①を差込み、天板を取付けます。

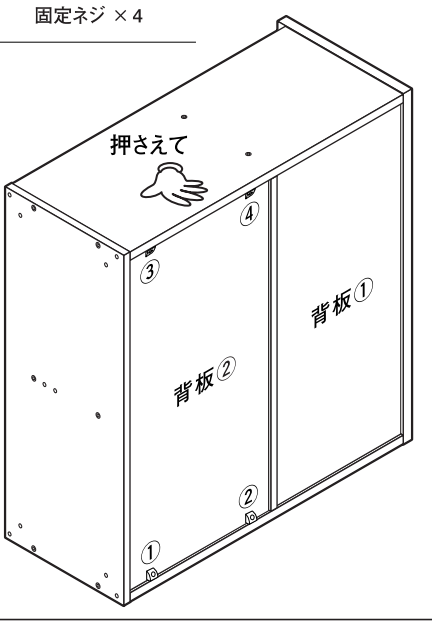
（ボンドを入れて下さい）

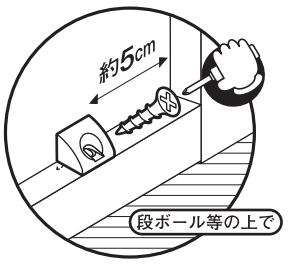


8 本体を寝かせて背板②に背板ストッパーを取付けます。

背板ストッパー ×4

固定ネジ ×4





1 床等への傷つき防止のため、段ボール等を敷いた上で行って下さい。
2 まず①～②の位置に側板の上から押さえながらネジをしめつけます。
3 次に本体を上下逆に置き換え③～④を同様に取付けます。
※詳しくは、別紙共通説明書「背板ストッパー取付けのポイント」を参照して下さい。

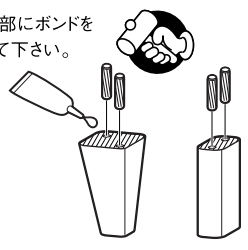
9 地板にフット①(×4)、②を取付けます。

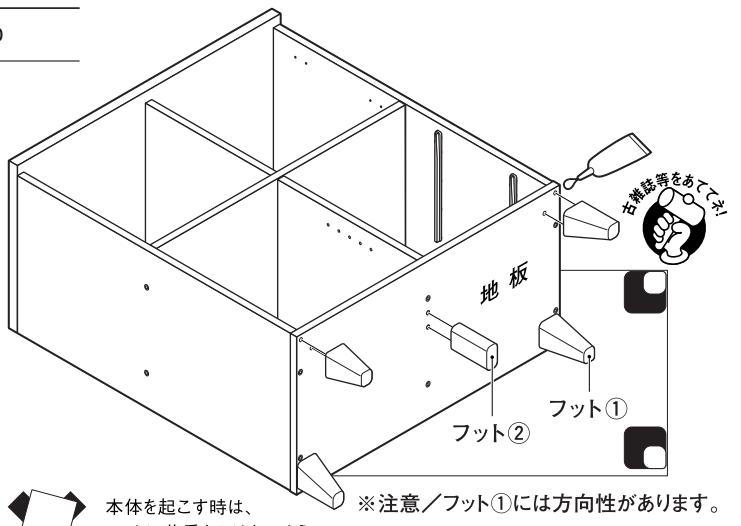
	木ダボ 大 ×10

(ボンドを入れて下さい)

木ダボ大の目安 フット
11ミリ
打ち込みすぎに注意

斜線部にボンドを塗って下さい。





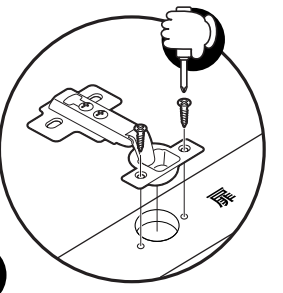
本体を起こす時は、
フットに荷重をかけないよう
慎重に行なって下さい。

※注意／フット①には方向性があります。
フットの垂直になった面が地板のコーナーに
向くように取付けて下さい。

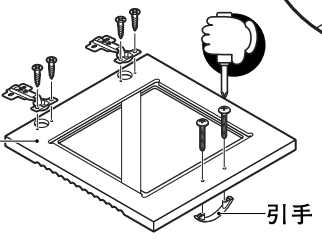
10 ガラス扉にスライド蝶番、引手を取付けます。

	スライド蝶番 ×2
	取付ネジ ×4
	引手 ×1
	引手ネジ ×2

キズ防止



スライド蝶番

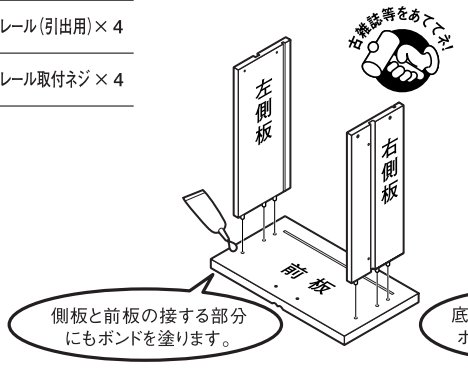


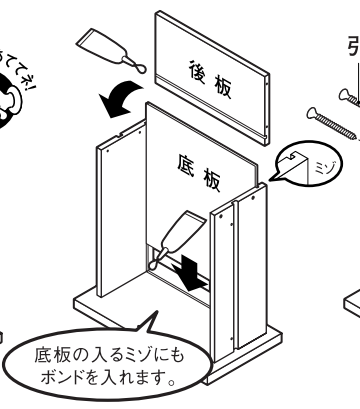
11 引出セット(×2)を組立てます。

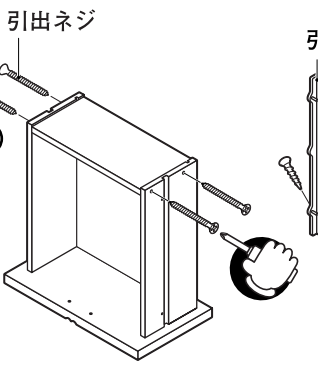
	引手 ×2
	引手ネジ ×4
	引出ネジ ×8
	引出レール(引出用)×4
	引出レール取付ネジ ×4

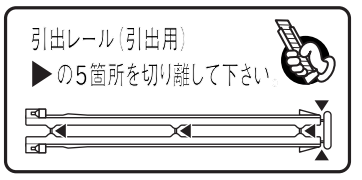
(ボンドを入れて下さい)

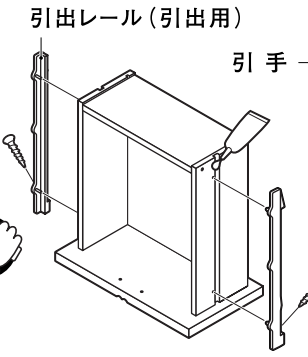
キズ防止

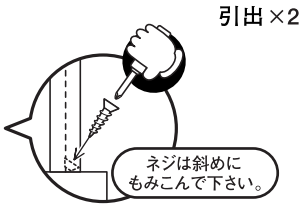








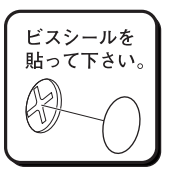


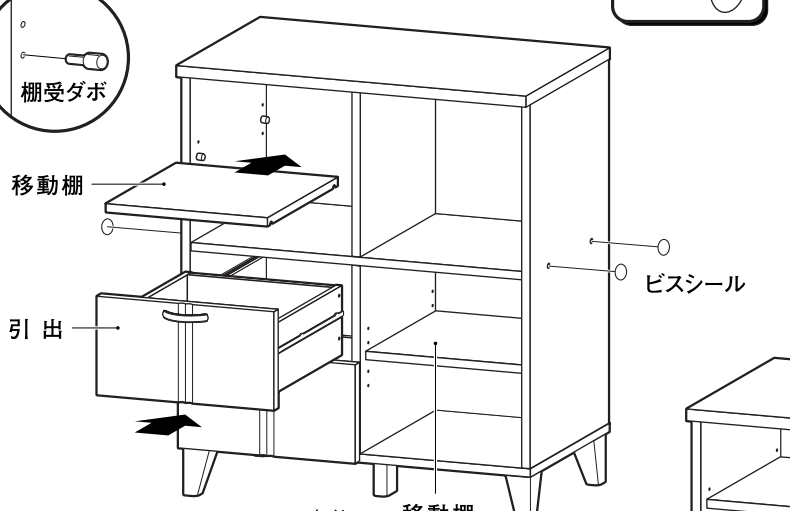


12 本体に引出(×2)と移動棚(×2)を取付けます。

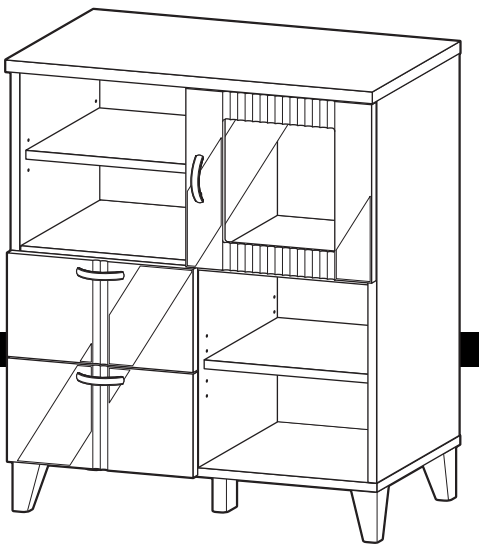
	棚受ダボ ×8
	ビスシール ×4

ビスシールを貼って下さい。



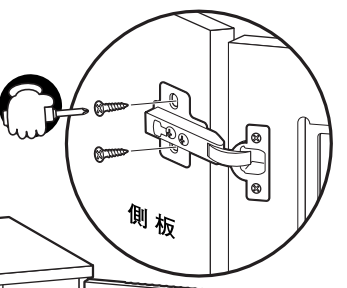


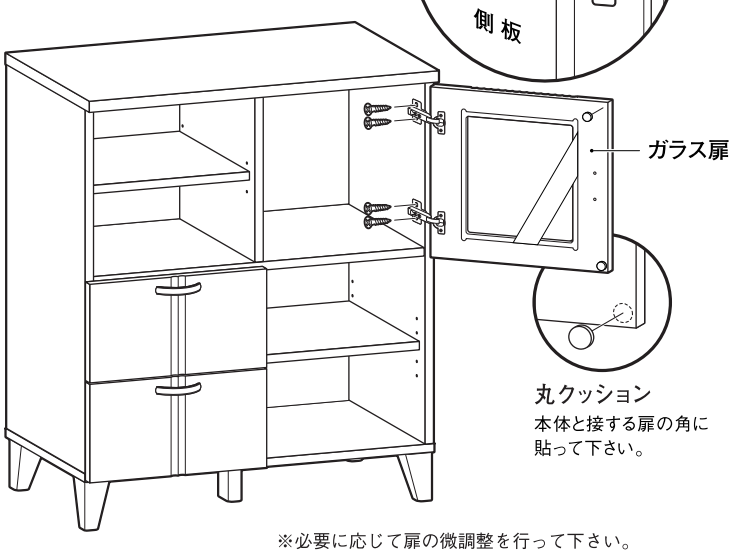
引出は少し傾けてから
本体に入れて下さい。



13 本体にガラス扉を取付けて完成です。

	取付ネジ ×4
	丸クッション ×2





丸クッション
本体と接する扉の角に
貼って下さい。

※必要に応じて扉の微調整を行って下さい。

扉の微調整の方法は、別紙共通説明書の
「ガラス扉・扉の微調整の方法」を参照して下さい。

※本体を移動させる場合は、ガラスに十分ご注意下さい。

注意

- ●床に傾斜や段差のある、不安定な場所には設置しないで下さい。▶倒れてケガをすることがあります。
- ●火のそばに近づけて設置しないで下さい。▶火災の原因になります。
- ●ときどき各部のネジ類がゆるんでいないか点検し、増し締めをして下さい。▶ゆるんだまま使用すると倒れてケガをすることがあります。
- ●異常を発見したら、そのまま使用せず購入店にご相談下さい。▶破損や倒れてケガをすることがあります。
- ●分解や改造をしないで下さい。▶破損やケガをすることがあります。
- ●水や蒸気を製品にかけないで下さい。▶製品を傷めます。(スライド棚で炊飯ジャー等を使用する際には、スライド棚を引出して下さい)
- ●ごくまれに木材の接着剤に含まれるホルムアルデヒドが残っている場合があります。
  ▶肌の弱い人はアレルギー症状をおこす場合がありますので、使い始めには換気を十分にして下さい。

お手入れ方法

①お手入れには、柔らかい布をお使い下さい。
②汚れを落とす場合は、カラ拭きまたは、ぬらして固く絞った布などで拭いて下さい。
③汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使って汚れを取り、ぬらして固く絞った布にて洗剤が残らないよう拭き取り、さらに仕上げは、乾いた布で水分を充分に拭き取って下さい。
※シンナー・アルコール類のご使用は避けて下さい。